

モード5 人権意識や自立心をはぐむ教育の充実

人権の世紀と言われる21世紀に、よりたくましく、より豊かに生きるために小中連携の校区事業による人権教育や、自立心をはぐむ実践を、地域と学校が一体となって進めています。

「小中連携 校区事業」

各中学校区による小中連携の“絆”

「小中子ども交流会」

前原東中校区では、小学5年生対象に、中学生による講話や授業の交流を行っています。



「人権フェスタin前原小」



前原西中校区では、幼・小・中・高・各種団体が参加し、子どもたちが地域のみなさんとともに、人権について考える場を共有しています。

「歴史学習交流会」

志摩中校区では、歴史学習の交流を行い、教師の歴史認識を深め、子どもの人権意識を高める授業に取り組んでいます。



「人権教育の手引き」

これまでの各学校の実践を共有

平成26年度に作成した「糸島市人権教育の手引き」には、これまで糸島市で積み重ねてきた多くの実践が掲載されています。市内の各小・中学校で、人権を大切にする「ことば」についての学習などに活用しています。



「1/2成人式・立志式」

真の自立のために

児童生徒の自立心を高め、将来への展望をもつことができるように、小学校4年生・中学校2年生で、独自の取組が行われています。

「1/2成人式」

前原南小学校



「立志式」

二丈中学校



深江小学校「弁当の日」



「弁当の日」

食への感謝と自立心を！

自立心と食に対する感謝の心を育むために、各小・中学校で「弁当の日」の取組を行っています。

児童生徒一人一人のニーズに応じた取組

特別支援教育支援員の配置

インクルーシブな社会の実現に向けて、各学校に約30人の支援員を配置し、教育活動において特別な配慮を要する児童生徒への支援を行っています。

学校巡回事業

臨床心理士が学校を巡回し、子どもの学校での様子をもとに、様々な支援の方法についてアドバイスを行います。

通級教室・巡回通級事業

南風小、東風小、可也小、前原西中に通級教室を設置しています。28年度は、深江小学校を起点に、巡回型通級指導事業を開始しています。

SSW派遣事業

スクールソーシャルワーカー(社会福祉士)が、児童生徒が安心して学校に通えるように、家庭や学校との教育相談を行います。28年度は、SSW2人が(週4日・週2日)勤務しています。

教育相談事業

みなかぜ相談

臨床心理士が、子どもの発達特性に応じた、様々な支援の方法についてアドバイスを行います。【場所】南風小学校 【開催日】毎週水・金曜10:00～15:00のう1時間

教育相談室

教育全般に関する相談を受け付けています。保護者から、生徒から、先生からと、誰でも相談できる窓口です。(電話相談も可) Tel. 324-4109 【場所】糸島市教育センター内 【開催日】月～金9:00～17:00

特別支援教育相談室

福岡聴覚特別支援学校の教員による教育相談や言語訓練を行っています。Tel. 332-5690(月曜のみ)、821-1212(火～金) 【場所】糸島市教育センター内 【開催日】毎週月曜9:30～16:30(受付は15:30まで)

糸島の教育



教育の基本目標

教育・文化先進都市「いとしま」の創造

～21世紀を担う“時代の変化に対応できる”人づくり～

糸島市には優れた交通利便性、豊かな自然、悠久の歴史・文化、新鮮で豊富な農林水産物、九州大学の立地など“糸島ならではの”資源や強みを十分に備えています。この資源や強みを存分に生かし、子どもたちが夢を描き、若者が希望に燃え、市民が何歳になっても向学心を持つことができる教育環境(教育力の向上と教育施設の充実)の充実を図ります。これにより、教育・文化先進都市を目指します。

糸島の教育 5つのモード

モード1

小中連携や
地域の教育力を
生かした学力の保障

モード2

地域・保護者の
参画による
学校教育の充実

モード5

人権意識や
自立心をはぐむ
教育の充実

教育・文化先進都市
「いとしま」の創造

モード3

次世代に必要と
なる英語教育や
ICT教育の充実

モード4

郷土の歴史と文化に
誇りを持たせる
郷土教育の推進

モード1 小中連携や地域の教育力を生かした学力の保障

学向上委員会を中心に、九州大学や地域の人材など、糸島市のもつ教育資源を最大限に活用しながら、確かな学力の育成をめざしています。

「伊都塾」中学生が九州大学を五感で知る！

社会心理学や
煮干しの解剖など
11の講座を開催



九州大学伊都キャンパスにて中学生を対象に、現役九大生が補充学習や専門研究を生かした実践講座を開催しています。

「地域の教育資源や人材の活用」

加布里小学校
放課後塾ASK



加布里小学校では、九州大学や地域の退職教員にご協力いただき、放課後の学習に取り組んでいます。

「中学校勉強合宿」 自学の力を育てる



中学校1・3年
で実施します

自主学習を中心に、教え合い・学び合いながら、苦手を教科をフォロー・アップしています。

「小中連携の授業研究」

志摩中学校区「算数・数学プロジェクト」



志摩中学校区では、どのような分数指導が有効であるか検証し、小学校の算数を、中学の数学の授業につなげています。

モード2 地域・保護者の参画による学校教育の充実

子どもや地域が抱える課題を解決し、人々の心の拠り所となる学校・地域づくりを進めるために、糸島市では、平成29年度までにコミュニティスクール全校実施を計画しています

「コミュニティスクール」 一体の教育



二丈中学校
ワールドカフェ

地域の参画により、学校の教育力の高まりを図ります。糸島市では、平成29年度に全校区で実施します。

「九州大学とともに」 連携の様々なかたち



波多江小学校では九州大学と連携し、ITカードを活用した引き渡し訓練を研究しています。



九州大学院生が作成した「二丈FUTURE」。地元で働く大人を紹介しています。

「地域の方々とともに」

安心・安全のまちづくり



南風小学校の見守り隊のみなさんです。



糸島市内の各小・中学校では、地域のボランティアの方々が見守りを行っています。

「『ひと・もの・こと』とともに」

桜野小学校ではJA糸島と連携した「生ごみたい肥で梅づくり」事業に参加しています。



高性能の移動式天体望遠鏡を使った出前講座「星空ひとり占め」。

モード3 次世代に必要な英語教育やICT教育の充実

グローバル社会で活躍できるたくましい人間の育成をめざし、21世紀型の学力である『糸島力』を育てるために、基礎学力はもちろん、汎用性のある学力の向上を推進しています。

「英語教育の推進」

小学校中学年の外国語活動

糸島市独自の教材「ENGLISH NOTE」



平成28年度から、小学校中学年の外国語活動を年間35時間実施します。

中学校英語検定推進事業



中学校糸島市スピーチ大会

中学校では2・3年生で4級以上を受検する生徒の検定料の一部を補助し、3年生修了時の英検3級以上の取得率14.5%をめざしています。

『糸島力』

糸島を「読み、創り、磨く」人

糸島市が目指す子ども像として、社会や地域に対し、主体的に参画する能力や態度を『糸島力』を設定し、糸島市内全小・中学校の校内研究において、21世紀型学力の育成を推進しています。平成28年度は、『糸島力』研究会を発足し、先進校視察や各学校におけるアクティブ・ラーニングの授業実践を行います。



平成27年度の活動実績

九州大学社会連携事業

- ◇『糸島力』検討会の実施（2回）
- ◇研究先進校の視察
 - ・鳴門教育大学附属小学校
 - ・奈良女子大学附属小学校
 - ・福岡教育大学附属福岡中学校

「ICT教育の推進」

タブレット端末の導入



モデル校である前原中学校へ先行導入し、インタラクティブな授業について研究しています。

中学生子どもサミット

平成28年2月に、SNS等に関する糸島市中学生のルール（第1次）を策定しました。



モード4 糸島の伝統や歴史・文化・産業を生かした教育の充実

糸島の特色を生かした教育活動は、市内の各小中学校において、様々な形で展開されています。まさに糸島でしかできない、体験を伴った学習と言えます。

「こめづくり体験」

糸島の「農業」



このような取組は多くの小学校で行われています！



「いとしま学」

郷土を学ぶ副読本の作成と活用

本年度より、糸島を学ぶための副読本「いとしま学（小学校版・中学校版）」を教科や道徳、総合的な学習の時間等の授業で活用します。

糸島の魅力が詰まった一冊ができました！



「魚っこ料理教室」

糸島の「漁業」

JF糸島と連携し、実践しています。



「糸島弁かるた」

糸島の「歴史・文化」



糸島弁のよさやあたたかみをもっと頼みやすく、そして後世に伝えるために、市民からアイディアを募り作成しました。

「小学校音楽会」

糸島の「文化」

糸島市の小学校が合同で音楽会を開催しています。



総合的な学習の時間で取り組んでいます！

「福井神楽」

糸島の「伝統芸能」



福吉中学校では、地域の方々で取組を進め、伝統ある「福井神楽」の継承と発展をめざしています。